

消費者庁新未来創造戦略 本部開設記念シンポジウム

2020年10月22日（木）

京都大学大学院法学研究科准教授

カライスコス アントニオス

karaikos.antonios.7c@kyoto-u.ac.jp

簡単な自己紹介

- アテネ大学法学部卒業、アテネ大学大学院法学研究科修士課程修了（修士（法学））
- 元 アテネ弁護士会所属弁護士
- 早稲田大学大学院法学研究科修了（博士（法学））
- タマサート大学（タイ、バンコク）法学部客員准教授、スオール・オルソラ・ベニンカーサ大学（イタリア、ナポリ）法学部客員准教授
- 日本消費者法学会理事、特定非営利活動法人消費者支援機構関西理事

簡単な自己紹介

- Fellow of the European Law Institute (ELI),
Member of the Scientific Board of Mediterranean
International Centre for Human Rights Research
(Italy), Member of the Scientific Committee of the
European Journal of Privacy Law and Technology
(Italy)

書籍：

- ⇒ 『不公正な取引方法と私法理論－EU法との比較法的考察』（法律文化社、2020年）
- ⇒ 『これからの消費者法－社会と未来をつなぐ消費者教育』（法律文化社、2020年）〔共著〕

加速するデジタル化 ～企業の果たすべき役割と 消費者のデジタル化への向き合い方～

総論的検討

消費者教育



消費者保護

デジタル・デバイド
(情報格差) への対応

加速するデジタル化 ～企業の果たすべき役割と 消費者のデジタル化への向き合い方～

各論的検討

1 デジタル化に関連するダイナミクス

新たなビジネスモデルの展開



新たな展開に即した対応



健全な競争の確保

加速するデジタル化 ～企業の果たすべき役割と 消費者のデジタル化への向き合い方～

各論的検討

2 消費者の観点から

アクセス可能性

+

透明性

+

適合性

+

自動化における消費者利益の保護

+

プライバシー保護（個人データ保護）

+

紛争解決手段